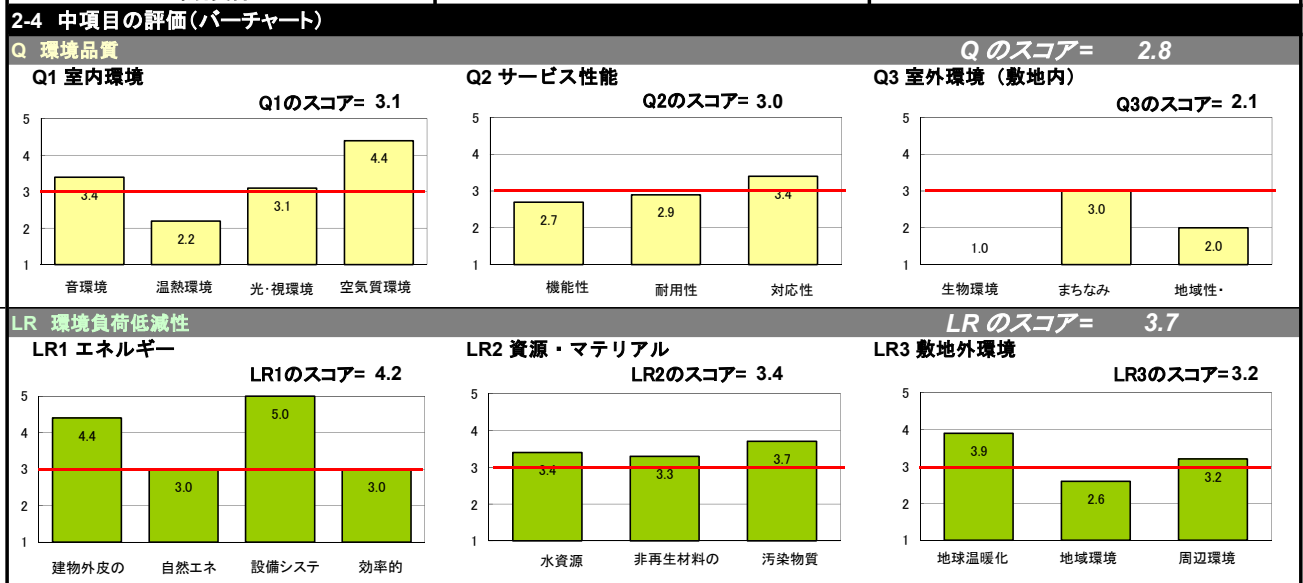
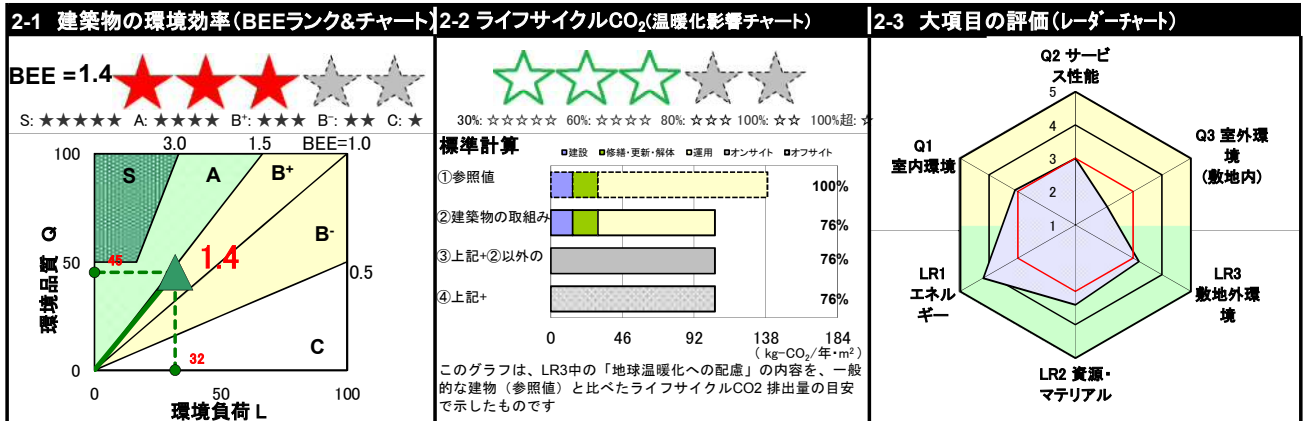
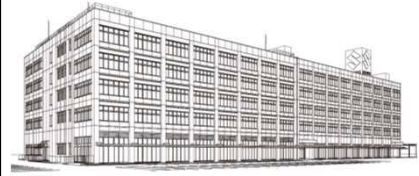


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スズキ株式会社北館増築工事	階数	地上5F
建設地	静岡県浜松市	構造	SRC造
用途地域	工業地域、法第22条地域	平均居住人員	2,390 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年7月23日
敷地面積	165,637 m ²	作成者	早川麻美
建築面積	2,891 m ²	確認日	2016年3月10日
延床面積	13,535 m ²	確認者	羽迫英男



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2014年版)による評価結果です。 既存建物と一体となるため、既存に調和した外観とし、良好な執務空間、省エネ性能に配慮した建物としている。		その他 0
Q1 室内環境 個別制御性に配慮し、照明器具はプルスイッチ付を選定している。 内装は、全てF☆☆☆☆を使用し空気質環境の向上に努めている。	Q2 サービス性能 良好な執務空間を形成するため、天井高さは3.0mを確保している。 節水型衛生器具を採用し、省エネに配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 駐車場は、緑化ブロックを布設し周辺環境に配慮している。
LR1 エネルギー LOW-Eペアガラス、LED照明器具、高効率空調機を使用し、省エネに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水型衛生器具を採用、省エネに配慮している。	LR3 敷地外環境 適切な駐車場・駐輪場を配置により、周辺の交通負荷へ配慮している。 適切な照明器具の選定により、光害に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される